

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月18日

議 会 議 長 様

議席番号 5 番

議員氏名 原 田 壽 々 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. FMBを活用し、自主防災組織の機能向上を図れ	<p>令和4年度版杉戸町地域防災計画が手元に届きました。474ページからなる立派な計画書です。</p> <p>この膨大な計画書の最大の目的は、町民の生命、身体及び財産を災害から保護することであることは言うまでもありません。本書のP112には災害対策本部組織図が掲載されていますが、町民の相当数が避難所生活を強いられるような災害に遭遇したことを経験した職員はいない、というのが現状かと思われます。</p> <p>また、災害時には全職員が出動できるとは限らない状況になるものとも考えます。</p> <p>そうすると、実際機能させるべくは地域における防災組織ではないかと考え、以下質問いたします。</p> <p>(1) 行政区ではなく、集合住宅などにおける自主防災組織はあるのか。また、その把握状況は。</p> <p>(2) 町全体として、地域に防災組織がない、あるいは足りない、また、その活動状況など、現状・実態はどの程度把握しているのか。</p> <p>(3) 防災計画書P326に「町は、自主防災組織への指導、支援をし、防災体制の強化に努めるものとする」とあるが、これまでの実績はどのようなものか。</p> <p>(4) 町の災害対策本部事務分掌において、自主防災組織とのパイプとなる課は危機管理課と住民協働課だが、災害発生時、各自主防災組織との連携を図る担当職員の配置があれば、もしもの時に安心安全と考えるが、見解は。</p>	町長 副町長 危機管理課長 住民協働課長

5月18日 午前・午後 3時10分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 公共施設におけるWi-Fi環境の整備を	<p>(5) 「防災」「減災」に向けた取り組みとして、ファーストミッションボックス (FMB) を設置している他自治体の先進事例があるが、町内各地域の自主防災組織において導入すべき重要事例と考えるが、見解は。</p> <p>DX化が加速する昨今、当町においても、今年度より組織の改定が行われ、デジタル推進室が設置されました。デジタル化においては、学校と同じようにWi-Fi環境の整備は重要かと思われます。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) 役場庁舎内におけるWi-Fi環境の整備は、どう考えているのか、また、どこまで進んでいるのか。</p> <p>(2) 各公共施設におけるWi-Fi環境の現況と今後の整備について、どう考えているのか。</p> <p>(3) コロナ禍で会議体もリモートが多くなっている。Wi-Fi環境の整備が図られることにより、会場に出向くことなく会議に参加できることが実現可能になり、町民にとって利便性の向上が図られると考えるが、見解は。</p>	<p>町長 副町長 管財契約課長 デジタル推進室長 担当課長</p>
3. 広報のデジタル化を推進し、若年層へ訴求を	<p>町長は先の選挙において、「より4E (よい) まちに選ばれるまちに、カラフルなまちに」というキャッチコピーを掲げていました。選ばれる町としてPRするためにも、広報は重要な位置を占めていると考えます。</p> <p>最近、広報紙は読みごたえがあり、大変充実していると評価しています。</p> <p>しかしながら、新たな読者＝若年層獲得の工夫の必要性を感じます。現代社会において若年層に訴えていくには、「読む (読める)」から「見る (見られる)」へのステップアップが必須と考えます。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) これまでの広報やホームページ以外の情報提供の実績と検証 (評価) は。</p> <p>(2) 今後検討されている広報手段は。</p>	<p>町長 副町長 秘書広報課長 デジタル推進室長</p>